



通信

HP 学校だより
R4. 3. 8
NO. 43
文責 伊藤美佳

「ありがとう」が伝わった 6年生送る会



3月4日（金）に「6年生を送る会」が開催されました。

6年生の登場から退場まで、どの学年も「ありがとう」の思いを工夫して伝え、見ていると心がぼかぼかしてきました。

グループで決めたポーズをびしっと決めて6年生登場。

1年生の出し物は、サツマイモを紙で作った玉入れです。

6年生の担任が的から顔を出し、見ている人も楽しい玉入れとなりました。「焼き芋パーティー」を思い出させる楽しい出し物でした。



2年生の出し物は、6年生が2年生の時に踊ったダンスや演じた劇をうまく取り入れており、ちょっと照れながらも懐かしそうにしている6年生が印象的でした。

3年生は、メッセージを流れ星に見立てて当ててもらおうゲームでした。最後に、「とよさか6ねんせいありがとう ちゅうがっこうがんばってね」と思いを伝えました。

前半戦最後は、集会委員会の子たちの司会でドレミの歌を手話で歌いました。全校で歌えなくても、手話という言葉で心は一つ！

4年生は、6年生が4年生の時に踊ったソーランと先生たちをクイズにした出し物でした。みんなで踊るソーラン、6年生も楽しそうでした。

5年生は、全体の運営と司会、会場の飾りや6年生のエピソード劇、幕間の漫才など、6年生はもちろん見ている子たちも楽しめるように工夫しました。最後に6年生から「5年生なら豊坂小をまかせて大丈夫」とお墨付きをもらいました。

6年生は自分たちのことをクイズにし、雑巾や手紙をプレゼントしてくれました。

一番印象的だったのは、この会に参加した子たちは、みんな受け身ではなく自分から楽しもうとしていたことです。どんなことでも自分で「楽しもう」と思わなければ楽しくありません。自分で楽しむこと、盛り上げることができていた豊坂っ子！すてきです！

